【補足】記号について

Ｎ……ナレーション　岡本綾香

Ｍ……その人物のモノローグ（心の声）

セリフの中にある括弧書き……心情や状況についての補足

ＳＥ……効果音

登場人物と設定

* サトミ　桜谷理子　小３女。自分から前に出るタイプではなく、やや気が弱い。これまではひとりで遊ぶのが好きだったが、最近になって皆とオンラインゲームで遊ぶようになり、クラスにも居場所がある感覚になってきている。
* ヤマト　大谷祐喜　小３男。無邪気でよく喋るキャラ。浮いている訳ではないが、時たま周りが見えず、自己中心的だと思われてしまうこともある。ゲームはそれほどうまくないが、楽しむあまり仕切りたがる。
* ケイ　佐久間悠吏　小３男。クラスの中ではそれほど目立った存在ではない。その分、心を許せる小さなグループの中では、仕切る側になりたいという思いがあらわれることもある。ヤマトのノリが気になっている。
* モモカ　岡本綾香　小３女。４人の中では、特に何か考えがあったり、こだわりがあったりするタイプではない。

　１コマ目　放課後、オンラインゲームで遊ぶ約束をする４人。

Ｎ 小学生のサトミ（左端）は、ゲームが大好き！　ふだんはちょっと大人しい性格ですが、最近、同じゲームをもっているケイ、モモカ、ヤマトといっしょにオンラインで遊ぶようになり、とても楽しそうです。

ヤマト おーい、みんな、今日も帰ったらゲームやろうぜー！　すぐに集合なー！　おくれんなよ〜！

サトミ、ケイ、モモカ　オッケ〜！

もちろん！

うん、うふふ！

Ｎ ４人は、今日も、オンラインゲームで遊ぶ約束をしています。ところが……。

　２コマ目　熱中するあまりあれこれ指示を出すヤマトに戸惑う。

ＳＥ （ゲーム音）

ヤマト おーい、モモカ、こっちこっち。あー、そっちじゃないってば！　こっち来て〜！（ヤマトは純粋に楽しく盛り上がって喋っている、皆を配下に置きたいという意図はない）

モモカ えっ、あ、う、うん……（ゲームは楽しく、その空気は壊したくないのだが、ヤマトの仕切りにはやや戸惑っている）。

ヤマト ケイ！　ケイは、そこにいて！　おれが先に行くから！　ちょっと待ってて！

ケイ え……あ……ああ……。

ヤマト サトミ、早く、早く！　早く動いて、こっち！　おー、アイテム、ゲットー！　イエーイ！　おれ最高〜！

Ｍサトミ ヤマト……楽しそうね……。  
今日もヤマトがひとりで、もり上がってる……。  
よっぽどゲームが楽しいのね……。

　３コマ目　ヤマト以外の３人で遊ぼうと提案がある。

Ｎ 次の日の、朝。

ケイ ねえー、最近さー、ヤマトのノリ、なんかヤじゃない？　ああしろ、こうしろって、指示ばっか出して……。そんなにうまいわけじゃないのに……。

モモカ たしかにー。私もちょっと思ってたー。

ケイ ……あ、そうだ。今日はさ、ヤマトぬきで、三人でゲームしようよ。いいでしょ、たまにはさ。

モモカ そうね！　たまには、いいんじゃない？　ね、サトミもいいでしょ？　もっと自由にやりたいよね？（モモカはそれほど深く考えている訳ではない）

サトミ えっ……あ、あの……。

Ｍサトミ それって……だいじょうぶなのかな……。たしかに、ヤマトがいるとあんまり自由にできないけど……。（戸惑い、肯定も否定も返事ができないまま）

　４コマ目　その場に居合わせるヤマト。返事に窮する３人。

ヤマト おっ、みんなー。こんなとこにいたのかよー。おっはよー。今日も帰ったら、ゲーム、や・ろ・う・ぜ〜！

ケイ あ……ヤ、ヤマト。お、おはよう。いやあ、実はおれ、今日ちょっと用事があってさ……。家の……。（とっさに嘘をついてしまう）

モモカ あ……あたしも！　なんだよね……。ご、ごめん。サトミも……なんだよね？　ね？

サトミ えっ。あ……う、うん……。（気の弱いサトミはついこのように返事してしまう）

ヤマト えー、なんだよー。  
まあ、家の用事なら、仕方ないかー。

ケイ あ、う、うん……。悪いな……。

ケイ・モモカ あは、あはは……。

Ｍサトミ あ……な、なんか、四人でやらないことになっちゃった……。（これで「いいのかな」と思いつつも、性格上、何かを主張することはできない。）

　５コマ目　サトミはヤマトが気になるが、ゲームは楽しい。

Ｎ その日、サトミたちは、三人だけでオンラインゲームで遊びました。

ケイ・モモカ あははは！（ガヤ：ゲームをしながらの、楽しげなつぶやき）

Ｍサトミ ヤマト、大丈夫かなあ……。でも、ケイとモモカ、楽しそう……。私も……、楽しいけど……。いつもより自由にやれて……。（ヤマトが気になりつつも、ゲームは楽しく、そのことを意識しないようにしている。）

ＳＥ （ゲーム音）

　６コマ目　ひとりで遊ぼうと、ゲームを起動するヤマト。

Ｎ そのころ。  
ヤマトは一人でゲームをしようと、ゲーム機の電源を入れました。すると……。

ヤマト え……。サトミ、ケイ、モモカ……。三人とも、オンラインになってる。みんな、用事あるって言ってたのに……。なんで？　これって、どういうこと……？　え、もしかして……おれだけ…………。（自分だけがハブられていることに気づくも、確証がないため、信じたくない）

　７コマ目　次の日。互いのことが分からず、気まずい４人。

Ｎ 次の日の朝。ヤマトと三人が、ばったり出会いました。

ヤマト あ、みんな……。お、おはよー……。きょ、今日はさ、ゲームできる……？（不安がありつつも、性格上、自分から話しかけてみる）

Ｎ いつもとはちょっとちがうヤマトの様子に、三人は顔を見合わせます。ケイとモモカは、すぐに返事ができません。

モモカ あ、えっと……、サトミ、ど、どうかな？（自分はどう答えたらいいかわからない。気まずい。気の弱いサトミに話をふる）

Ｍサトミ えっ、わたし？　ヤマト……何か気づいている？　私、なんて答えたらいいの？　っていうか、私たち、これからどうしたらいいの？（自分が何か答えなくては、しかし何と答えてもよい回答にはならない、と自分を追い詰めるような思いが生じている）

　　　　　　　　　　　　　　　終